

清流

西粟倉中学校だより

令和8年2月10日(火) 発行



15の春の自立を地域とともに目指す活力のある学校

(学校教育目標)

未来を拓き たくましく生きる力の育成 ～ 自律 協働 挑戦 ～

(校長雑感)

今年の年始、テレビを見ていると、「学校」に関する辛いニュースが立て続けに報道されてきました。それは、子どもたちによる暴力行為の動画が拡散されたという内容でした。一方的に暴力を振るわれている子どもの気持ちを思うと、胸が痛みます。「心身がしんどいときには、逃げてもいいんだよ。学校も休んでいいんだよ。」と伝えたいと思いました。(もちろん「学校は対応するからね」という言葉とともに。)

報道から少し時間が経った今、少しでも気持ちが落ち着き、警察と連携しながら、よりよい解決に向かって進んでいることを願っています。

このニュースを見ながら、他にもさまざまな感情が湧きました。教員の性かもしれませんが、「なぜ、あの子はこんな暴力をふるうようになったのか」「それまでに止めることはできなかったのか」「周囲で見ていた人は止められなかったのか」など、背景や当時の状況について考えてしまいます。

本校でもいじめの事象を認知しており、継続して見守りをしている人もいます。現実があります。始業式に生徒たちの元気な顔を見たとき、正直少しほっとしたと同時に、「今、目の前にいる子どもたちが抱えている悩みや思いにしっかり寄り添っていこう」という思いを強くもちました。

また、今の社会の風潮についても考えさせられます。簡単に動画を撮影でき、全世界に発信できる世の中になりました。暴力行為自体は決して許されるものではありませんが、その動画が拡散され、名前や住所が特定されたり、家族や親族にまで影響が及んだり、これまで頑張ってきたこと含めてすべてを否定してしまうような、世の中の怖さを感じます。これは、ネット社会における「私刑」とも言われる行為です。(いわゆる「罪を憎んで人を憎まず」が通じにくい世界の怖さを感じます。)

何がいけないことなのか、何が正しいことなのかという根源的な基準を、一人一人が自分の中にもつことの重要性が、ますます問われる社会だと思えます。

改めて、西粟倉中学校においては、

- ・学校教育目標にもある「自律・協働・挑戦」の実現に向け、生徒がつながり、自由に思いを言える安心して過ごせる環境を目指します。
 - ・小さな変化やサインを見逃さず、教育委員会や警察等とも連携し、組織としていじめのない学校を目指します。
 - ・一人一台端末は、使用のルールにあるように、学習のための活用とします。
 - ・デジタル社会を生きる子どもたちに向けて、情報モラル教育を進めていきます。
- これらのことについて、今後も継続的に指導を重ねていきたいと考えています。

今年度より右ページの「学校の様子」はHPで代替しています。1月は、13件の記事がHPに上がっています。HPも是非ご覧ください。(職員室、校長室前の掲示板にも掲示しています。)

西粟倉中学校



(学校の様子)

<https://www.vill.nishiwakura.okayama.jp/wp/nishiwakurachugakko/>